



学校だより

令和4年9月30日

No. 7 10月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

なかよし学年の活動

校長 金子 博美

晴れた日の空は青く高く、空気も澄んでさわやかです。朝夕には肌寒い日もあり、少しずつ季節が変わろうとしていることを感じます。

9月27日の朝会では、子どもたちに「今年もみんなで運動会をやりますよ」と伝えました。運動会を楽しみにしている子は、きっとたくさんいると思います。放送室からでは素直な子どもたちの反応はわかりませんでした。それぞれの思いをもって話を聞いていたことでしょう。来週から学年ごとの練習も始まります。感染症拡大防止の観点から、昨年度同様、2学年ごとに3ブロックでの午前中開催となりますが、その中で、今年度は、ブロックをペア学年とし、運動会を「なかよし学年による活動」と位置付けて行うことにしました。学校として、その行事を通して子どもたちにどんな力をつけたいか、どのような姿をめざしていくかについて考えることは大切です。今年度の運動会では子どもたちに、みんなで一つのことを創る楽しさや、仲間とかかわることのよさを味わってほしいと思っています。けれども、現状では種目も限られており、高学年中心に運営や進行したり学年の垣根を越えて色別に応援したりすることもできません。運動会を実施することはできても、子どもたちが「創る楽しさ」や「かかわるよさ」を実感できる場面がありません。そこで、そのような場を保障するためにいくつか工夫を考えました。その一つが「なかよし学年ごとに演技や競技をすること」です。1年生は6年生と、2年生は5年生と、3年生は4年生と一緒に当日の演技や競技を行います。もちろん本番までの間には、互いに練習する姿を見合う時間も計画します。本番で応援するだけでなく、練習を頑張る姿やだんだん上達する様子にも目を向け、学校生活の中で励まし合うようなかかわりを期待しています。

【「創る楽しさ」や「かかわるよさ」を育てるために、こんな工夫も・・・】

- 開閉会式を全校で（テレビ放送）：同じ行事に取り組むという一体感を高めます
- 各委員会による「運動会を盛り上げる活動」（10月～随時）：みんなで楽しむ雰囲気をつくります
～運動会に向けて、みんなと頑張ったり楽しんだりする子どもの姿をめざして支援していきます～

本校の「なかよし学年」は、異学年交流の一つの形です。ペアなので相手意識をもちやすい点が特徴です。4・5・6年生は「かつての自分」を思い出して「相手のために～」と考えながら思いやりをもって行動します。1・2・3年生は「未来の自分」を想像して「相手のおかげで～」と感謝し憧れを抱きつつかかわります。互いに仲を深めるには、交流をなるべく日常化し、ペアの学年や具体的な相手を常に意識できるようにすることが必要です。本校では、春に実施したスポーツテストや今回の運動会、今後実施予定の全校遠足など、年間を通じてペア学年とかかわることができるよう考えて「なかよし活動」を計画しています。また、保護者の皆様や地域の方々にご協力いただいている登校班も、大事な異学年交流の場です。このようなかかわりを意図的に実践し、子どもたちが経験を積み重ねることによって、自分が相手の存在を支えていることや相手に自分も支えられていること、それぞれの思いを実感し、互いを認め合うことができる学校でありたいと思っています。